

市長退任の あいさつ



広瀬 寿雄 (ひろせ としお)

昭和33年、下野市(旧石橋町)生まれ。栃木県議会議員を経て平成18年に下野市長に就任し、4期16年を務める。

ことし8月5日に下野市長を退任。

平成18年に市民の皆さまの信託を得て下野市政の舵取り役として市長に就任して以来、市政の推進に全力を注いでまいりましたが、8月5日の任期満了

をもって退任することといたしました。長きにわたり、市長の重責を担うことができましたのも、多くの皆さまの温かいご支援とご協力があったからこそであり、心から感謝申し上げます。

今、振り返りますと、この16年間の出来事が昨日のこのように思い出されます。

就任当時は市の一体感の醸成に全力で取り組み、旧三町のそれぞれの地域特性を生かした新市の基礎づくりに力を入れてまいりました。「安全安心で、子育てしやすく、誰もが幸せを実感できるまちにしたい」という思いで職務にあたり、医療・福祉施策、教育環境の充実に加え、18歳までの医療費無料化を実現することができました。また、国道四号線や北関東自動車道、JRの3駅を有する恵まれた交通環境を生かし、駅周辺の都市再構築を進め、さらに産業環境の向上と地域経済発展の推進を図り、人や企業から選ばれるまちづくりを目指してまいりました。同時に、財政の健全化、防災、市内公共交通の充実など、

市が抱える多くの課題と向き合い、市長として精一杯取り組んでまいりました。

日本全体で人口減少が進む中、令和2年度国勢調査において本市の人口増加率は県内トップとなりました。まさに、いくつもの魅力あふれる施策が実を結び、本市の暮らしの良さが総合的に評価された結果だと自負しています。本市は医療・福祉関係機関も多く、交通環境にも優れ、多彩な歴史・文化的資源と緑豊かな自然環境を有しています。現在、地方を取り巻く環境は、加速する少子高齢化、多様化するニーズなど厳しい状況にありますが、豊かな地域資源を活用し、市民の皆さまと行政が互いの信頼を深め、一丸となって「住みよいまちづくり」を実践されますよう期待します。

退任後は一市民として、生まれ育った大好きな下野市の発展を見守り、微力ではありますが引き続き市のために尽力していきたいと思っています。

長い間本当にありがとうございました。

広瀬市政

16年の歩み

平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年
・しもつけ風土記の丘資料館オープン ・マイナンパー制度スタート	・自治基本条例制定 ・甲塚古墳から機織形埴輪などの形象埴輪群出土	・香川県高松市と歴史文化交流協定及び災害時における相互支援協定締結 ・一般社団法人下野市観光協会設立	・下野市トウサワトラノオ保存会設立	・道の駅しもつけオープン ・住民票の写し等のコンビニ交付開始	・市税等のコンビニエンスストア納付開始 ・道の駅しもつけのイメージキャラクター「カンピくん」誕生	・防災情報伝達システム(屋外拡声器・告知端末機)設置 ・ドイツ・ドイツヘルツタールと姉妹都市締結	・消費生活センター開設 ・ふるさと納税制度創設	・市民憲章制定	・南河内町、石橋町、国分寺町が合併し下野市誕生 ・広瀬市長就任
令和4年	令和3年	令和2年	令和元年 平成31年	平成30年	平成29年	平成28年			
・南河内小学校開校・市民活動センターオープン ・しもつけ産業団地造成工事着手 ・広瀬市長退任	・東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとしてキプロス共和国を歓迎 ・岐阜県本巣市と友好都市協定・災害時相互応援協定締結	・ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度開始	・皇位継承の宮中祭祀「大嘗祭」で天平の丘公園の淡墨桜が風俗歌として詠まれる ・住みよざらんキング 栃木県内1位 ・コミュニケーション「FMゆづがわ」開局 ・こども医療費助成を18歳まで拡大	・大松山運動公園リニューアルオープン ・民俗資料館「夜明け館」が古民家カフェとしてリニューアルオープン ・三王山ふれあい公園オープン ・民俗資料館「夜明け館」が古民家カフェとしてリニューアルオープン	・甲塚古墳から出土した遺物が国の重要文化財に指定される ・第1回中学生議会開催	・下野市役所新庁舎開庁 ・下野市制施行10周年記念イベント開催 ・栃木SCと地域支援パートナーシップ協定を締結			

